

藤沢市教育委員会定例会（8月）会議録

日 時 2009年8月7日（金）午後2時

場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) 平成21年度6月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 澁 谷 晴 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 藤 崎 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	田 中 一 次	生涯学習部長	青 柳 茂
教育総務部担当部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部担当部長	須 藤 公 夫
教育総務部参事	茂 木 利 夫	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
教育総務部参事	吉 田 早 苗	総合市民図書館長	古 谷 一 幸
教育総務部参事	佐 川 悟	生涯学習部参事	宮 澤 光 明
教育総務部参事	酒 井 一 二	学務保健課長	吉 田 正 彦
教育指導課主幹	上 條 茂	文化推進課主幹	神 尾 哲
書 記	秋 山 曜	書 記	中 山 裕 子

午後2時00分 開会

澁谷委員長

ただいまから藤沢市教育委員会8月定例会を開会いたします。

7月24日の教育委員会定例会におきましては、中学校等の教科用図書の採択等についてのご審議、ご苦労さまでした。本日、前回7月の教育委員会定例会から期間が2週間しか空いておりませんが、8月定例会にお集まりいただきありがとうございます。

今回の定例会における議題は、教育長報告のみとなりますが、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、1番・佐々木委員、2番・鈴木委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、1番・佐々木委員、2番・鈴木委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

次に、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、このとおり了承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

続きまして、教育長報告を行います。

(1)平成21年6月藤沢市議会定例会の開催結果について、報告をお願いします。

佐々木委員

それでは、平成21年6月藤沢市議会定例会の開催結果につきまして、ご報告申し上げます。(議案書参照)

6月定例会は6月8日から24日までの17日間の会期で開催されました。まず、教育委員会に関連する議案は、5月の教育委員会臨時会でご審議をいただきました、ふじさわティーチャーズカレッジ(FTC)「学びあい」開設に伴う運営経費の「(仮称)藤沢教師塾開設運営費」、スクールガードリーダー事業の実施のための「学校安全対策関係費」、学校整備に係る計画の基礎資料の策定のための「学校施設環境対策推進事業費」、神奈川県緊急雇用創出事業臨時特例基金市町村補助金を活用した、業務委託による埋蔵文化財出土遺物整理事業等のための「文化財資料整備費」の4事業に

係る補正予算については、6月16日の総務常任委員会に付託され、審議の後、本会議において可決されました。そして、訴訟判決に係る賠償金のための「その他事務局費」の補正予算につきましては、6月24日の総務常任委員会に付託され、審議の後、本会議において可決されました。

報告議案といたしましては、5月の教育委員会定例会でご審議をいただきました財団法人藤沢市芸術文化振興財団と、財団法人藤沢市スポーツ振興財団の経営状況について、平成21年度の事業計画をご報告いたしました。

次に、文教常任委員会でございますが、はじめに、5月20日の市議会臨時会におきまして、委員長に、さつき会の熊倉旨宏議員が、副委員長に、ふじさわ自民党の桜井直人議員が選任されましたことをご報告申し上げます。

それでは、6月15日に開催されました文教常任委員会についてご報告いたします。まず、教育委員会に関連する陳情が1件ございましたので、その取り扱いをご報告いたします。陳情21第3号「国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」の趣旨は、国に対して私学助成国庫補助金の削減方針に反対し、増額を要望する意見書の提出を求め、県に対しては、私学助成の拡充を求める意見書の提出を求めるものです。本陳情につきましては、私学助成は学校教育における私立学校の果たす重要な役割にかんがみ、国・県が法に基づき補助等を行うものでありますが、平成18年7月に閣議決定された、いわゆる「骨太方針2006」では、私学助成について今後5年間、毎年1%ずつ削減するという方針が示されましたが、私立高等学校等経常費助成費補助金は3年間据え置かれており、平成21年度予算でも同補助金は前年度と同額となっていること、また、県では教育条件の維持・向上、保護者負担の軽減、学校経営の健全化を基本理念に、経常費補助や私立高等学校等生徒学費援助等の補助を行っている現状等をご説明いたしました。その後、質疑、討論、採択の結果、本陳情につきましては、趣旨了承となりました。そして本会議において可決されました。

次に、報告案件でございますが、教育委員会に係る案件といたしましては、3件ございました。報告案件の1、「ふじさわティーチャーズカレッジ（FTC）「学びあい」開設について」では、藤沢市の教師を目指す方を対象に、高い資質と技量、教育に対する情熱を持った教師の確保を図ることを目的として開設して開設し、受講対象者・募集人員、研修期間、研修方針及び内容等について報告いたしました。

次に、報告案件の2、「平成22年度使用藤沢市教科用図書の採択方針

について」では、国、県、市の資料を踏まえ、公正かつ適正を期し、学校、児童生徒、地域等の特性を考慮して採択すること、中学校用教科用図書は採択替えの年であり、社会科の歴史分野については、新たに検定を得たものがあるため調査研究を行い、審議、採択を行うこと、そして教科用図書採択の日程について報告いたしました。

次に、報告案件の3、「藤沢市スポーツ振興基本計画（ふじさわスポーツ元気プラン）の見直しについて」では、国の基本計画が改定され、また、現計画が平成22年度までの計画であるなどの理由により、基本計画を見直す必要が生じたため、国の計画に位置づけられた新たな課題を参酌するとともに、本市の特性を活かした見直し案としてまとめたこと、今後のスケジュール、見直しの視点、新たに取り入れた施策や充実を図った施策、基本計画の期間、そして見直し案の内容について報告いたしました。以上で、文教常任委員会のご報告を終わらせていただきます。

また、6月12日に開催されました民生常任委員会において、報告案件3、「藤沢市新型インフルエンザ対策の状況について」では、新型インフルエンザ国内感染発生による修学旅行延期措置等の経過をご説明させていただきました。

続きまして、一般質問についてでございますが、全体で20名の議員から質問がございました。教育委員会に対しましては6名の議員から8件、8の要旨にわたり、15項目のご質問をいただきましたので、主な内容をご報告させていただきます。はじめに、さつき会の浜元輝喜議員から「青少年の育成について」の件名で、「園庭、校庭の芝生化について」の要旨の中で、「芝生化成功の最低条件である児童1人当たりのグラウンド面積が15平方メートル以上の12小学校における土日開放の使用状況と、芝生化の今後の取り組みについて」とのご質問には、12校の校庭の使用状況は、スポーツ少年団や地区社会体育振興協議会による野球、サッカー、ソフトボールなどが毎週土・日に絶え間なく利用していること、芝生化の今後の取り組みについては、全面芝生化には課題があるものの現在改築中並びに改築を予定している学校においては、校庭や中庭等の一部を、また既存の学校においても、これから策定を予定している「環境を考慮した学校施設整備計画」の中で、学校と調整を図りながら芝生化を検討してまいりたいと答弁いたしました。

続きまして、日本共産党藤沢市議会議員団の加藤なを子議員から、「教育行政について」の件名で、「教育のあり方について」の要旨の中で、「教育振興基本計画策定の根拠と計画策定、学校教育ふじさわビジョンとの関わりについて」とのご質問には、平成18年に改正された教育基本法にお

いて、地方公共団体は国の計画を参考にして、その地域の実情に応じた基本計画を策定するよう努めることと規定されたことから、教育委員会内関係課によるプロジェクトとして「(仮称) 藤沢市教育振興基本計画策定検討会」を4月に立ち上げ、計画の基本的な考え方や方向性、既定の個別計画との関係性、国・県策定の計画との比較、さらに現在見直し中の新総合計画との整合性等について検討を行い、今年度末までには計画の素案を作成してまいりたいこと、「学校教育ふじさわビジョン」については、国・県の教育振興基本計画や新学習指導要領との整合性について検証し、本市の教育振興基本計画の策定と並行して見直しについて検討してまいりたいと答弁いたしました。

続いて、「教育政策主任研究員は教育振興基本計画策定においてどう関わっているのか」との再質問には、教育政策主任研究員は、教員としての経験や本市の教育の諸課題に関し研究してきた知識等を活かし、計画策定に当たって事務局を担当する教育政策推進課の一員として、学校現場の実態調査・現状分析、計画策定検討会の資料作成等を行っていることと答弁いたしました。そして、「教育における教育長の考えについて聞きたい」との再々質問には、新教育基本法に示された教育の理念の実現に向けて、藤沢の実情に応じた教育振興基本計画について取り組みの準備を進めているところであるが、この機会に藤沢の学校教育が目指す理念と、学校が重点的に取り組むべきものを提起した「学校教育ふじさわビジョン」についても、その策定から5年が経過し、その後の社会の変化や子どもを取り巻く環境の変化によって、取り組むべき課題も変わってきていることから、教育基本法の改正にあわせて見直しをしていかなければならないと考えていること、学習意欲の高い児童生徒の方が学力が高い傾向が見られることから、児童生徒に興味・関心を持たせ、学習意欲をさらに高めていくことが大切であると考え、「確かな学力」を向上させるために、「分かる授業」「楽しい授業」づくりに向けて、教師の指導技術や指導力の向上に努めてまいりたいと考えていること、学校は子ども同士、子どもと教師がお互いの信頼関係を結びながら、「共に育つ場」であり、さらにその学校を支える周囲の人たちや地域の人たちとも、「共に育ち生きる場」であるため、その人と人をつなぐコミュニケーション力がとても大事になり、学校行事や体験学習、地域との協働による三者連携事業などのさまざまな場を通じて、双方の信頼関係を結ぶコミュニケーション力が養われ、実際の体験の中での人と人との関係づくりから「豊かな心」も養われ、不登校等の今抱えている教育課題解決のための糸口にもなると考えていること、藤沢の子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育てていき、学

校で生まれ、地域で生まれ、郷土藤沢を愛し、誇りに感じる、そんな藤沢の子どもたち、ふじさわっ子を育てていきたいとの思いを答弁いたしました。

続きまして、日本共産党藤沢議員団の高松みどり議員から「市長の政治姿勢について」の件名で、「松下政経塾について」の要旨の中で、「教育政策推進課に任用した現役の松下政経塾生の、任用した経緯と仕事の内容と報酬金額について」とのご質問には、教育政策推進課の業務を推進するため、教育等さまざまな分野に多くの逸材を輩出している松下政経塾に研究員の推薦を依頼したこと、教育政策主任研究員として、学校現場における現状分析、教育振興基本計画の策定検討会における調査研究等、幅広く携わっていること、報酬金額は月額 18 万 9,000 円を支給していると答弁いたしました。

続きまして、さつき会の井上裕介議員から「教育行政について」の件名で、「藤沢市教育史について」の要旨の中で、「子どもたちが分かりやすく理解ができる小冊子的な教育史の刊行及び通史編現代発刊後の教育史編さん事業の計画と、教育史編さん事業を進めていく中で収集された資料の保存方法と今後の活用について」とのご質問には、通史をもとに、児童生徒が楽しく読み進めることのできる「教育史読本」の刊行を総合計画に盛り込むよう考えていること、藤沢市の教育の指針を示す資料として、収集・整理・保管を継続していくこと、教育文化センターアーカイブズ室及び教育史資料室内に 3 万点を超える資料が、年代、資料名、所属等で分類整理され、索引で検索できるよう整理されており、まずは「教育アーカイブスふじさわ」等で広く学校現場等に情報提供してまいりたいと答弁いたしました。

続きまして、さつき会の三野由美子議員から「天皇陛下御在位二十年慶祝行事について」の件名で、「国や県からの通知等と、藤沢市及び藤沢市教育委員会の対応と取り組みについて」の要旨で、「慶祝行事は、児童生徒に学習指導要領の内容を指導するよい機会であると考えられるが、教育委員会としては慶祝行事をどのようにとらえ、対応するのか伺いたい」とのご質問には、学習指導要領の社会科の内容として、天皇の国事行為などについて、児童生徒に指導するよう定められており、学習指導要領にのっとり、対応してまいりたいと考えていること、今後の対応としては、藤沢市の対応や近隣市の状況を踏まえ検討してまいりたいと答弁いたしました。

続いて、「教科用図書の採択について」の件名で、「教科用図書検定規則等の改正に伴う今後の藤沢市教科用図書の採択について」の要旨の中で、

「国の教科書検定基準の改正を受けて、藤沢市の教科書採択の方針は、どのような方針になるのか」とのご質問には、教科用図書検定規則の一部改正については、平成 21 年 4 月 1 日から施行され、小学校の教科用図書については、平成 23 年度以降の使用に係るもの、中学校の教科用図書については平成 24 年度以降の使用に係るものの検定から適用することになっており、今年度の教科書採択は、既に教育委員会会議において決定された採択方針に基づき行っていくこと、来年度以降の教科書採択については、改正後の検定規則に沿った教科書から採択することになり、その際の藤沢市の採択方針については、文部科学省の通知及び県の採択方針を受けて、教育委員会会議において定めてまいりたいと答弁いたしました。

そして、「文化財について」の件名で、「藤沢市の指定重要文化財等について」の要旨の中で、「市内の希少な動植物は文化財保護条例による市の天然記念物として指定対象となるのか、また、指定に至るまでの過程はどのようなものなのか、そして現在、天然記念物の指定対象となり得るものをどう把握しているのか」とのご質問には、市にとって重要で「学術上貴重で藤沢市の自然を記念するもの」と判断されるものは、「藤沢市指定天然記念物」に指定する対象となり、藤沢市文化財保護条例の規定により、保存に当たっている方や管理団体などから申請をいただいた後、文化財の保存及び活用に関しての意見を聞くため、藤沢市文化財保護委員会に諮問を行い、審議の結果を受けて、教育委員会が指定を行うこととなり、所有者がいない場合には、市または教育委員会がこれにかかわって手続を行うこともできること、そして、市内の希少な動植物について、詳細については把握をしていないが、「タコノアシ」という植物や「アユカケ」というカジカの仲間の魚など、いくつかの希少な動植物を発見されたと伺っており、今後、天然記念物として指定対象となり得る動植物が発見された場合は、自然保護の担当課と十分協議し、藤沢市文化財保護委員会の意見を聞き、指定等の対応について検討してまいりたいと答弁いたしました。

最後に、市政市民派会議の真野喜美子議員から「人道的ホームレス対応について」の件名で、「ホームレス支援策について」の要旨の中で、「ホームレス問題をどうとらえ、児童生徒及び保護者に対して、どう伝えているのか」とのご質問には、ホームレス問題は人権にかかるひとつの課題としてとらえ、児童生徒に対しては、子どもの成長段階に応じ、学校教育全般を通して、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるよう努めており、今後も保護者や地域の方々に対するさまざまな場面をとらえての周知を含め、だれもが差別や人権侵害を受けることなく、一人ひとりを大切に作る心が子どもたちに育つよう努めてまいりたいと答弁

いたしました。以上で、平成 21 年 6 月藤沢市議会定例会の開催結果についてのご報告とさせていただきます。

澁谷委員長 ただいまの教育長報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

それでは、私から 1 つ、県内で芝生化されている学校の状況を教えてくださいたいと思います。

酒井教育総務部参事 芝生化を実施している市は、小田原市、横浜市、川崎市が主なところですが、小田原市は 21 年度より 2 校の小学校で、学校が主体となって校庭の全面芝生化を進めております。費用については、学校配置予算と日本サッカー協会の寄付で、学校、地域、PTA が管理を行っているという状況です。横浜、川崎についても最近、力を入れて行っているという状況です。それから試験的に校庭の一部または中庭等の芝生化を実施している市としては 8 市ほどありまして、いずれも地域で継続的なサポート体制ができていないか、いないかが一番のポイントになっているようです。芝生化については、ニュージーランドのニール・スミスさんという方が普及に力を入れておられて、その影響を全国的に受けております。特に、この間、平塚のある小学校で、青年会議所 20 周年をかねて、芝生化の PR をしたイベントがありまして、日曜日に学校施設課職員 2 人と状況を見てきました。非常に熱心であることは事実で、特に平塚は、ベルマーレの関係もありまして、サッカー協会の支援が相当あります。いずれにしても近隣でも徐々にそういう動きがあるのですが、一番の支えはそれを支えるサポート体制、ボランティア、PTA とか、現実的には学校の教頭先生、用務員さんであるという部分もあるかもしれませんが、地域がサポートするという体制ができていないと非常に難しいかと思っております。

本市においても、そういう状況を見ながら、特に改築していく学校については、徐々に広めていきたいと思っておりますし、サポート体制をいかにつくっていくかが大きな課題と認識しております。

澁谷委員長 芝生化というのは、環境への配慮とか、子どもの足に優しい等、良い面はあると思いますけれども、既に芝生化している学校で使い勝手の面で問題点などは出ていないのでしょうか。

酒井教育総務部参事 昨年、川崎市の学校で芝生化しましたが、子どもたちには大変不評であると新聞が報じていました。それは校庭を全面芝生化してしまったことで、地域の少年団が芝生の養生期間は使えない。サッカーの子どもたちはいいけれども、野球の子どもたちは使用しにくくなったり、中には運動会で、走るトラックの部分は土にしようと試みた学校もあるのですが、そうすると野球関係でバウンドしてしまって球が取りにくいとか、いろいろ

ろな課題、問題はあるようです。

澁谷委員長 芝生化という、すてきなイメージはあるのですが、日本の小学校の校庭はいろいろな用途に使いますので、難しい問題があるのではないかと思います。市内の状況も含め、またご報告をいただきたいと思います。

藤崎委員 ちなみに芝生化に伴う費用は1校どのくらいですか。

酒井教育総務部参事 学校によって、地域によって千差万別ですが、例えば大和市の上和田小学校では平成14年から芝生化を進めておりまして、継続的に地域の協力も得ながらやっているということで、3ヵ年で3分の1ずつ維持補修を行って、経費的には3ヵ年で肥料、土の入れ替え、水、芝刈り機等諸々含めて2,700万円ほどかかっているということです。それから平塚では4校ありまして、この4校については学校、PTA、ボランティアで芝生を守り育てる会を組織しておりまして、それぞれ30万円の年間経費、その30万円は平塚市内の園芸業者への指導謝礼で、業者の指導を受けながら、ボランティアで維持できているという話は聞いております。

平岡委員 藤沢市もできるところから検討していくというようではございますけれども、改築中のところ、グラウンド整備中のところがあるけれども、具体的に芝生化をしようとしているところが現在あるのかどうか教えてください。

酒井教育総務部参事 具体的には改築中の善行小学校、六会中学校、設計段階の本町小学校になるかと思えます。善行小学校については、この間、PTAと地域の自治会代表と地区社会体育振興協議会代表で、「善行小学校をいい学校にする連絡会」というのをつくってございまして、行政的に固まった組織ではない、連絡し合う意味合いの組織をつくってございまして、この場所に芝生を考えているという提案をしまして、そこは木が大きく道路に面していて、日陰になってしまうからまずいだろうと、もっといい場所を探そうという意見も出ております。六会中学校については、新しい建物がほぼでき上がっていて、古い体育館と新しい建物の間のこれから新しい体育館を建設する予定地を全面芝生化する。そして芝生を何とか維持できるように、教頭先生が中心にやっていくという話も聞いております。本町小学校については、これから地元の意見を聞きながら、やっていきたいと思っております。

澁谷委員長 「新型インフルエンザ対策」に関連して、お聞きします。新型インフルエンザで市内6つの中学校の修学旅行が延期になり、9月以降、出発が予定されています。新型インフルエンザは終息に向かいつつも、夏のキャンプや各地のスポーツ大会などで発症が報告されています。それぞれ症状は大したことはないということで、発症があったとしても余り過敏に反応することなく、出発できればいいと思いますけれども、今後どのような対応

を考えているか、お聞かせください。

村岡教育総務部担当部長 修学旅行を延期したときの国の新型インフルエンザに対する考え方と、今の考え方は大分変わってきております。1つは、全国を蔓延地域とこれから流行していく地域という区分していたのをやめる。それから新型インフルエンザといっても、通常のインフルエンザと同じような対応をとるといふ形に変わってきております。最近、出た通知では、保健所に報告する場合も1校で2人以上疑われる場合は報告してくださいというふうに変わってきておまして、9月の2学期を迎えるに当たって、市の対策本部と相談して行っている部分もありますので、市全体の方向性として考えていきたいと思っておりますが、修学旅行を延期したようなところと同じ扱いにはならないと考えております。

澁谷委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、報告どおり了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長 以上で、本日、予定しておりました審議する案件はすべて終了いたしました。

次回の会議の期日を決めたいと思います。9月4日（金）午前10時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催ということで、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

澁谷委員長 それでは、次回の会議は9月4日（金）午前10時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

午後2時44分 閉会

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員